

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社ロッテ	事業所名	浦和工場				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	ISOの取得状況を確認している。 複数の業者において取得済み。			○	○	○
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	一斉アンケートを実施し提出状況を確認、奨励する。			○	○	○
02	モーダルシフトの推進 ----- ()	船舶等の利用を促進			○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ()	定期報告書の作成及び提出			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	荷姿・パレット積載数の最適化を検討している。			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	梱包形態の変更及び梱包サイズの見直しを実施。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 ----- (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	製品重量・サイズに適合する低床大型車両の導入を促進	○	○	○
05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 ----- (02) 他者との共同輸配送の取組	同業他メーカーとの共同輸送の実施	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	全業者に対し導入状況等を適宜確認	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	全社で実施 状況の確認実施	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	出荷2日前のオーダーを実施	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- (02) 多頻度少量輸送の見直し	最大効率積載を考慮した車両単位の輸送を実施	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	シートパレット輸送による積み込み時間の短縮	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	事業所外に物流拠点(営業倉庫)を設け、ルート別に仕分け配送している。	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	通過拠点が複数にならないようルートを考慮し実施している。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	SCMを取り入れ、システム化し情報の共有化を図る。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	アイドリング防止のため、冷蔵・冷凍車の工場内待機場所に電源設備を設置している。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社ロッテ	事業所名	狭山工場			
取組措置		具体的取組措置		H30	H31	H32
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	ISOの取得状況を確認している。 複数の業者において取得済み。			○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	一斉アンケートを実施し提出状況を確認、奨励する。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

02 モーダルシフトの推進 ()	船舶等の利用を促進	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	定期報告書の作成及び提出	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	荷姿・パレット積載数の最適化を検討している。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	梱包形態の変更及び梱包サイズの見直しを実施。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	製品重量・サイズに適合する低床大型車両の導入を促進	○	○	○
05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組	同業他メーカーとの共同輸送の実施	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	全業者に対し導入状況等を適宜確認	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	全社で実施 状況の確認実施	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	出荷2日前のオーダーを実施	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	最大効率積載を考慮した車両単位の輸送を実施	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	シートパレット輸送による積み込み時間の短縮	○	○	○
08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	事業所外に物流拠点(営業倉庫)を設け、ルート別に仕分け配送している。	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	通過拠点が複数にならないようルートを考慮し実施している。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	SCMを取り入れ、システム化し情報の共有化を図る。	○	○	○